

FAX情報

～園芸施設大雪対策～

令和6年(2024年)1月12日

胆振農業改良普及センター本所
電話：0142-23-3195



普及センターHP

このたび1月7～8日の大雪により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

今後、更に雪が積もる恐れもあります。発表される気象情報等に注意し、被害の拡大防止に努めましょう。

事故を防ぐためにも、安全確認と定期的な休憩の時間を確保し、下記の5つのポイントに注意しながら復旧作業を行ってください。

1 作業時は安全第一で

- ・作業はできるだけ2人以上で、声をかけ合いながら行う。
- ・滑りにくい防寒靴、ヘルメット、命綱、反射材等を身につける。
- ・通路の出入口、雪山や建物の角、屋根の下等に人がいないことを確認する。
- ・除雪機を動かす前に、周囲(足下の段差、柱、壁等)を見回す。
巻き込み防止のため、すその長い服やヒモのある服の着用を避ける。
- ・はしごは、横ずれのないよう真っ直ぐ立て、できるだけ人に支えてもらう。

2 施設が正常に使用できるか再確認

- ・バンド、金具、加温機、電気線等の破損やゆるみが無いか総点検する。
破損部は速やかに補修する。
- ・いちごの場合、被害のない施設へ苗等を臨時的に移動する、高設の栽培槽や土耕の株が雪上に露出しない深さまで雪で覆う等の凍結防止対策を行う。

3 資材の再利用は慎重に

- ・パイプ本体や関連資材は破損により強度が低下している場合がある。
- ・損傷状態を確認し、曲がりやヒビ割れのあるものは、再利用を避ける。

4 融雪水の早期排除

- ・気温の上昇により、ハウス内部や周囲に融雪水が停滞する恐れがある。
- ・ハウス周辺の除雪を行い、水が抜けにくい場合は排水路を確保する。

5 今後の大雪に備えて

- ・被災していないハウス、修繕中や修繕後のハウスでは、今後の降雪による倒壊のリスクを減らすため、内部に支柱(中柱)を設置し補強を行う。